

平成 31 年 2 月 4 日
日本調剤株式会社

保険薬局による糖尿病重症化予防事業 協会けんぽ広島支部から受託

全国 47 都道府県で調剤薬局を展開する日本調剤株式会社(本社所在地:東京都千代田区丸の内、代表取締役社長:三津原 博、以下「日本調剤」)では、このほど、全国健康保険協会広島支部(所在地:広島県広島市東区、以下「協会けんぽ広島支部」)が公募した保険薬局による糖尿病重症化予防事業に応募し、同事業を受託いたしましたので、お知らせします。(公募件名:保険薬局による糖尿病重症化予防事業、受託期間:平成 31 年 2 月 1 日~3 月 31 日)

■協会けんぽ広島支部のパイロット事業

公的医療保険者である協会けんぽ広島支部は、これまで保険者機能の発揮を強化するために、他県に先駆けての取り組みが注目を浴びた「ジェネリック医薬品の使用促進」を始めとした医療費適正化や保健事業等の先進的なパイロット事業を実施しており、糖尿病重症化予防に関してもこれまでも積極的に各種事業を実施しております。

■「保険薬局による糖尿病重症化予防事業」の概要

今回、日本調剤が受託した「糖尿病重症化予防事業」は、同支部の加入者の中から糖尿病重症化予防が必要と思われる一定の対象者へ事前案内して同意を得た後、事業に参加している薬局(受託薬局)に来局した際、薬剤師が通常の服薬指導や残薬の確認、その他服薬に関する指導を行います。また同支部が制作したテキスト配布、糖尿病啓発および糖尿病連携手帳等により検査値データを入手、委託者である同支部へ服薬状況や検査数値を報告、その後、同支部では、対象者の一定期間経過後の検査値から事業の有効性について検証を行う事業です。

■広島県内 8 薬局で積極的な取り組み

日本調剤では、調剤薬局企業として年間 1,370 万枚超の処方箋を取り扱っており、医療・医薬のプロフェッショナル集団としての経験・ノウハウを培っております。また糖尿病を始めとする生活習慣病と呼ばれる各疾病の重症化予防にも積極的に携わっています。広島県内には 8 薬局(所在地:広島市、福山市、呉市、三原市、府中市)が営業しており、今回の協会けんぽ広島支部の糖尿病重症化予防事業にしっかりと対応できる体制をとってまいります。

日本調剤では、かかりつけ薬剤師制度の推進、ジェネリック医薬品の普及促進、在宅医療への取り組みなどに積極的に取り組んでおり、医療としての質を確保しつつ、今後も持続可能な社会保障制度の基盤となる医療費適正化への取り組みを推進して、良質な医療サービスを提供する企業として地域社会に貢献してまいります。

以上

【日本調剤株式会社について】 <http://www.nicho.co.jp/>

1980(昭和 55)年の創業以来、一貫して国の健康保険制度を支える調剤薬局のあるべき機能・役割を全うすべく「医薬分業」を追求し、調剤薬局展開を積極的に行っています。現在では、全都道府県に調剤薬局を展開し約 3,000 名の薬剤師を有する、日本を代表する調剤薬局企業として評価を得ています。また、ジェネリック医薬品の普及や在宅医療への取り組みを積極的に進めており、さらに超高齢社会に必要とされる良質な医療サービスの提供を行ってまいります。

【本ニュースリリースに関するお問い合わせ先】

日本調剤株式会社 広報部 広報担当

TEL:03-6810-0826 FAX:03-3201-1510

E-Mail: pr-info@nicho.co.jp